

退職者連絡会

第34号
(発行・編集)
J R九州労組
退職者連絡会
鹿児島地区本部

退連会「上村ちかし」氏 少数激戦を制し、3期目の当選

始良市議選と市長選は、四月二十二日投票が行われ、J R九州労組準公認候補、退職者連絡会の「上村ちかし」氏が少数激戦を制し、三期目の闘いを見事八位で上位当選を果たしました。また市長選は、前回の雪辱を期すべく新人の「湯元よしひろ」氏が二五九〇票の大差を付けて当選しました。

午後十時三〇分第一回選挙管理委員会より、二〇〇票の得票発表があり、集結していた支持者から大きな歓声と拍手が沸き上がりました。発表を受けて、北芳明後援会会長より当確の判断がされ、上村候補を迎え、当選集会が行われました。上飯屋浩二選対事

務局長の司会で始まり、まず北後援会会長が「地元を始めJ R九州労組、連絡会、県連合産別の皆様の力強い支援で勝利することが出来た」と



当選を決め、候補とガッチリ握手する
JR九州労組地本の江口洋一委員長

謝辞が述べられました。引き続き中原博徳委員長（J R九州労組中央本部）より祝辞が述べられた後、上村ちかし氏が登壇。支持者らに御礼を述べると共に「四年間、始良市の発展のために全力で取り組む」

と決意表明しました。今回の選挙戦は、参院選の前哨戦と位置づけ、子育て世帯の支援、高齢者が生き生きと暮らせる生活環境の整備、公共交通の充実・強化と、地域間を結ぶ交通網の整備など、発展し続けるベトナム始良の将来や地域

の街づくりへの取り組みが問われる闘いでした。定数二十四人に対し、二十八人が立候補、まさに現職、新人が入り乱れた少数激戦の闘いとなりました。投票率は前回（六一・四二%）を下回



支持者より花束を受ける候補

り、五九・九一%となりました。地元後援会とJ R

ていました。今後四年間『熱き思いが新しい時代を創る』ことをスローガンに、次世代へ引き継ぐ子供たちを何よりも大切に育ててと高齢者支援策など公約を全力で取り組んで行くものと確信しております。

連絡会会員・現職の皆様選挙戦でのご支援ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

始良GG同好会 上村氏必勝を誓う

去る三月二日、始良地区で結成するGG同好会（二十名）は、森山自治公民館（始良市平松）神社境内でグラウンドゴルフ大会を開催しました。大会には、十八名が参加し、和氣あいあいの中、ホーラインワンも統出、素晴らしいプレーで

盛り上がり、お互いの意思疎通の場となり、親睦が図られました。

懇親会では「ほっともつと」の会員でもある高橋優一オーナーより用具のポスター一式が寄贈された旨披露されました。

また四月の市議選三期目に挑戦する「上村ちかし」市議も参加し、議会報告等があり、J R加治木駅のバリアフリー化や市内に五駅ある中核の帖佐駅前開発等の課題などが提起されました。

その後、ビールで乾杯。焼酎片手に歓談、和やかな雰囲気のもと「上村ちかし」氏の必勝をお互い誓い合い、散会となりました。

- 成績は以下の通り。
- 優勝 上村 親
 - 準優勝 勢屋 正弘
 - 三位 松元 春夫

